

学校だより

後期学校評価特別号

令和7年2月 7日(金)

野々市市立野々市小学校



学校評価に関するアンケート結果の報告

7月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」に、ご回答をいただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによりよい学校づくりに生かしていきたいと思っています。
 ★は児童アンケートにおける令和6年度前期学校評価との比較です。
 ◎:よい ○:ややよい ー:同程度 △:ややよくない ▲:よくない

	評価内容	A	B	C	D	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	児童 授業がわかる	58%	36%	5%	1%	58%	36%	5%			
2	児童 自分の学び方について、ふり返りをしている。	37%	45%	14%	4%	37%	45%	14%			
	教職員 重点1に基づいて児童が学び方を意識できるように工夫している。	36%	60%	4%	0%	36%	60%	4%			
3	児童 自分で課題や学び方を決めて、授業に取り組んでいる。	52%	37%	9%	3%	52%	37%	9%			
	教職員 重点2に基づいて児童に学習を委ねる場の工夫をしている。	31%	65%	4%	0%	31%	65%	4%			
4	児童 授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめている。	71%	24%	4%	1%	71%	24%	4%			
	教職員 クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。	12%	35%	51%	2%	12%	35%	51%			
5	児童 グー・ペタ・ピンで学習している。	23%	48%	22%	7%	23%	48%	22%			
	教職員 授業で姿勢を見取り、グー・ペタ・ピンの声掛けを徹底している。	52%	44%	2%	2%	52%	44%	2%			
6	児童 自分からあいさつやえいやくをしている。	54%	32%	10%	4%	54%	32%	10%			
	保護者 お子さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。	28%	51%	18%	3%	28%	51%	18%			
7	児童 廊下は走らず、右側を歩いている。	46%	45%	7%	2%	46%	45%	7%			
	教職員 廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。	70%	28%	2%	0%	70%	28%	2%			
8	児童 友達をきずつけない温かい言葉で話している。	50%	40%	8%	2%	50%	40%	8%			
	保護者 お子さんに温かい言葉で接している。	30%	63%	7%	0%	30%	63%	7%			
9	児童 シャツを入れ、ズックをはいて、身なりに気をつけている。	74%	18%	5%	3%	74%	18%	5%			
	教職員 身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。	55%	39%	4%	2%	55%	39%	4%			
10	児童 係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。	61%	32%	5%	2%	61%	32%	5%			
	教職員 児童が学校や学級をよりよくしようとする姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめている。	75%	23%	2%	0%	75%	23%	2%			
11	児童 学校は楽しい。	61%	27%	7%	5%	61%	27%	7%			
	保護者 お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	59%	34%	5%	1%	59%	34%	5%			
12	児童 自分にはよいところがあると思う。	54%	30%	10%	7%	54%	30%	10%			
13	保護者 お子さんは朝ご飯を食べている。	85%	12%	3%	0%	85%	12%	3%			
14	保護者 学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。	54%	43%	2%	0%	54%	43%	2%			

A あてはまる
 B だいたいあてはまる
 C あまりあてはまらない
 D あてはまらない

★	取り組みについて
-	どの子も「わかった」「できた」「がんばれた」という満足感や充実感をもてるように、1時間1時間の授業のねらいを明確にし、授業終末に到達してほしい児童の姿を具体的に想定し授業に取り組んでいきます。また、つまづきのみられる児童に個別の指導を行っていきます。
○	授業の中で児童自身が選択する場面があった時は、「自分の学び方はどうだったか」という視点でふり返りを書かせていきます。
○	児童の「どうしてかな」という問題意識をもとにして授業を行ったり、問題を解決するための見通しをもてる学習計画作りを行ったりして丁寧に学習を進めていきます。 児童が主体的に授業に取り組むことができるように、児童自身が調べ方や学び方を選択する場面を設けていきます。
-	引き続き、学習に効果的なクロームブック活用方法を考えながら学習を行っていきます。
△	3学期スタート直後の書き初めでは、児童自らがよい姿勢を意識できるように指導を行いました。ありがとうございますの練習や児童集会などの話を聴く場を利用し、全職員で良い姿勢を指導します。また、形としての姿勢だけではなく、相手を大切にす気持ちの表れであることも指導していきます。
-	児童の生活委員会の取り組みと合わせてあいさつの指導を行っていきます。 ご家庭でもあいさつを習慣づけたり、習い事や出かけ先でのあいさつを意識していただくとより効果的になります。
-	廊下を走ってはいけないと分かっていてもつい走ってしまう児童に ①止める ②指導する ③見届け、褒める の順で、教職員全員が足並みをそろえて指導を行っていきます。
-	のこのアンケートでは、いじめの原因として言葉に関する回答が多く挙がっています。なれ合いによる遊びやふざけからつい口から出してしまうようです。そこで、次の視点で指導を行っていきます。 ・ 親しくても、良くないことは良くないと伝える ・ なれ合いによる遊びやふざけから出てくる良くない言葉を見逃さず、その場で注意する ・ 良い言葉や「よくなっているところ」を取り上げて認めて、褒める
-	全教職員が常に服装について意識し、声かけを続けていきます。 授業初めのあいさつ時に声をかけ、あいさつを正しい服装で行う指導を行っていきます。
-	児童のがんばりを認めたり、仕事に対する自己評価・ふり返りを行ったりする時間を確保していきます。 委員会での創造的活動や児童集会での発表の場を利用していきます。仕事のがんばった達成感・充足感に加え、他の人のためにがんばることのよさを実感させ自己有用感を高めていきます。
-	日頃からの児童の言動や表情を観察し、教職員が児童からのサインを感じた時は、聞き取りと理解を迅速に行います。児童の悩みや不安、困惑に寄り添い、具体的な問題点を見つけ、改善策を共に考え、学年教師や必要に応じて全教職員で共有していきます。
-	学習や活動を通して自分の成長のふり返りを行い、児童自身が成長を実感できるようにしていきます。また、教師は児童と積極的なかわりを持ち、できたこと(結果)やがんばったこと(経過)を時間を空けずに伝えていきます。
-	児童にぞまじい生活習慣が身につくように、ご家庭と学校とで連携した働きかけを共に行っていきましょう。今後も、学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続していきます。なお、お便りの一部をメール配信で行うことで、確実に保護者の皆様へ届くよう取り組んでいます。 また、安全な学校づくりのために、今後も来校の際の保護者名札の着用(学校より配付)提示をお願いします。